

PRESS INFORMATION

ニュースリリース PGJPR20-007

メディア関係者 各位

2020年3月27日

ピアaggioグループジャパン株式会社

上質なグランドツーリング性能を高めた装備が充実

モト・グッツィ V85TT TRAVEL を発売

ピアaggioグループジャパン株式会社(本社:東京都港区芝二丁目、代表取締役:ネリ・ミクラウス)は、モト・グッツィのアドベンチャーモデルにパニアケースや大型ウィンドスクリーン、グリップヒーターを標準装備した、

『モト・グッツィ V85TT TRAVEL(トラベル):メーカー希望小売価格 1,595,000 円消費税 10%込』を2020年3月27日(金)より全国のモト・グッツィ正規販売店にて受注を開始し、5月中旬より出荷を開始いたします。

当モデルは、洗練された個性的なスタイルと最先端の技術を融合し、「クラシック・トラベル・エンデューロ」として世界中で注目を浴びた V85 TT に引き続き、今まさに新たな旅に欠かすことができないアドベンチャーツーリングのアクセサリ類を多数標準装備した「トラベル」バージョンを開発しました。



PRESS INFORMATION

■ モト・グッツィV85TT TRALELの概要

メーカー希望小売価格 1,595,000 円(消費税 10%込)

カラー : サッビアナミブ(専用色)

発売日 : 2020 年 3 月 27 日



※写真は欧州仕様です。日本仕様とは一部異なる場合があります。

PRESS INFORMATION

モト・グッツィ V85 TT はシンプルさ、実用性、そしてハンドリング性能がバイクとライダーの間に直接的な関係性を築くという基本コンセプトに基づき、モト・グッツィの真の遺産であり、トラベルバージョンを更に強調する、ワクワクするような旅へと導きます。従来のパーツよりも 60% 表面積が大きくなり、さらに優れたウインドプロテクション性能を発揮する大型ウインドスクリーン、プラスチック素材にアルミ製インサートが付いた2つのパニアケースをはじめとする多彩な純正アクセサリパーツが用意されています。右側にフルフェイスのヘルメットが収納可能な 37 リットル、左側に 27.5 リットルの大容量収納スペースを誇るパニアケースは、同じコンタクトキーを使用して施錠が可能です。更に、パニアケースは簡単に取付けることができる上、取外しても車両の美しいラインは崩れません。車両の開発と同時に設計されたパニアケースの横幅は、わずか 950mm のスリムなデザインとなっています。

また、標準装備として、従来の V85 TT の左側ハンドルスイッチにボタンを組み込んだグリップヒーターを採用し、更に LED フォグランプを追加しました。モト・グッツィ V85 TT Travel には専用のサッビアナミブカラーを採用しています。グレーのフレームと、ボディのマットカラーの色彩を合わせ、タンクとサイドパネルには専用グラフィックを施し際立たせています。Michelin 製 Anakee Adventure タイヤを装着することで、一味違うアドベンチャーツーリングを強調しています。

■ V85TT 概要

「TT」の名称はすでにモト・グッツィの伝統のひとつであり、V85 にとって理想的と断言していいでしょう。「Tutto Terreno」はオールテレーン(全ての地形)を意味し、パリ-ダカールのような砂漠の冒険シーンを鮮烈に思い浮かばせ、旅をするために生まれた正統派スタイルのモーターサイクルであることを印象付けます。その有名なアフリカのラリーは 1980 年代にピークを迎えます。感動の中心となったのは、モーターサイクルと調和し、常に自然と自分自身に挑戦し続ける”人”でした。コンパスとロードブック、時計が、多くの人にとって夢であったラクローズの最終目的地に辿り着くための唯一のナビゲーションツールでした。競うことだけが目的ではなく、V85 TT が復活を望む価値のある、唯一無二の場所を発見することでした。

モト・グッツィ V85 TT は、モーターサイクルアドベンチャーの黄金時代を思い起こさせるスタイルと、近代的なツーリングエンデュエロの機能性を兼ね備えた、新しい完全オリジナルのオールテレーンモデルです。V85 TT は、ダカールに思いを馳せ、日常の旅にアドベンジャースピリッツを吹き込むモーターサイクルを望むライダーに捧げられます。

スタイル: V85 TT はクラシックトラベル エンデュエロです

V85 TT プロジェクトの中心となる基本コンセプトは、シンプルさ、容易さ、そして実用性です。今やバイクのサイズと重量が大きくなっている現在のマーケットでは、その基本コンセプトの価値が高まろうとしています。日常の移動からアドベンチャーツーリングまで、様々なシーンに対応できた 80 年代のエンデュエロバイクの特徴でもありました。モト・グッツィ V85 TT は、この価値観に基づいたスタイルと現代的なツーリングのニーズを組み合わせるといふ、野心的な目標を達成しました。これが、ツーリング適性に注力したクラシックエンデュエロの称号に相応しい理由です。

PRESS INFORMATION

着座時の快適性と、オフロード走行時のスタンディング姿勢における動きやすさを両立させるために、ライダーとシートの接触範囲について幅広い研究を行いました。シート高は 830 mm に抑えられています。ボディ下部が絞り込まれ、乾燥重量も 210kg (サイドパニアケースを除く) に抑えられていることから、停止時の足つき性も良好です。ライディングポジションは背中への負担が少ない直立姿勢。総合的なコントロール性を重視して、脚の曲がりや少く、ハンドルバーが無理なく握れるように腕の曲がりも適切になっています。フロントのアップフェンダーと美しいデュアルフロントヘッドライトもモト・グッツィの歴史に裏付けられたものであり、それぞれ 1996 年の NTX650 と 1989 年の Quota1000 で採用されたスタイリッシュで機能的な装備です。フロントフォークインナーチューブガード、ハイサイレンサーエグゾーストシステム、アルミ製エンジンサンパガードを備えた伝統的なオールテレーンスタイルに、デジタルメーターや LED ヘッドランプといった、最先端のテクノロジーを組み合わせています。

シャシー: かつて無い走る喜びと快適性のために

モト・グッツィ V85 TT のシャシーも新たに開発されています。コーナーに飛び込んだときの堅固で正確なフロントの動きを誇る新しいモト・グッツィ。オンロードで刺激的な走りを目指し求めらる中で、ライダーにコントロール感と安全性を与えます。これには、アルミダイキャスト製の美しいライダーステップサポートプレート(オフロード走行時にはステップラバーを取り外すことが可能)が組み合わせられた、高張力鋼管製フレームの専用レイアウトが大きく貢献しています。さらに、アンダークレドールを廃止することで、オフロードライディングに不可欠な最低地上高を増やしつつ重量を削減しています。軽さ、合理性、扱いやすさを追求する中で、オフロード走行に適した強さと最適なフィーリングはもちろん、オンロード走行に必要な精度と剛性も備えた、堅固な構造の専用エンジンマウントが採用されました。フレームの後部セクションは強度の最適化が図られ、パッセンジャーのためのワイドで実用的な 2 本のグラブハンドルが装備されています。オプションのパニアケースを両サイドに固定できるほか、リアのラゲッジラックにトップケースをマウントすることで、横方向の張り出しを抑えることもできます。

新しいスモールブロックエンジンは前後長を減らす方向で開発され、安全で直感的なライディングを実現するロングスイングアームの採用を可能にしました。アルミボックスタイプの新しい左右非対称スイングアームは、エグゾーストパイプを直線的に取り回し、横方向の張り出しを抑えるために左アームを湾曲させています。スイングアームの右アームには新しいシャフトドライブトランスミッションが収められています。V85 TT は、このセグメントで唯一シャフトドライブ方式を採用するバイクです。外見がシンプルで日常メンテナンスを必要としない点でチェーンドライブよりも優れています。シングルショックアブソーバーは、シャシーと右スイングアームをダイレクトに接続しています。これによりダンパーとスプリングプリロードの調整が容易になり、エグゾーストシステムのレイアウト自由度が向上しました。サスペンションは、オンロードにおける快適性を確保しながら、オフロード走行に応える前後約 170 mm のホイールトラベルを実現。アルミ製サンパガードで保護されたエンジンのグラウンドクリアランスも 210 mm を確保しています。インナーチューブ径 41 mm のフロントフォークトリザーバータンク別体式リアショックは、ともにスプリングプリロードとリバウンドダンパーの調整が可能です。高品質なブレーキシステムは、フロント 320 mm ステンレススチール製ダブルディスクに、Brembo 製対向 4 ピストンラジアルマウントキャリパーの組み合わせ。リアブレーキは、260 mm ステンレススチール製ディスクに 2 ピストンフローティングキャリパーが組み合わせられます。ブレーキユニットは、マルチマップタイプの Continental 製 ABS システムによって制御されます。スポークホイールには、オフロード愛好家も満足させるフロント: 110/80-19、リア: 150/70-17 タイヤが装着されます。

新しいエンジン、次世代のクラシック

V85 TTには新しいモト・グッツィ エンジンが搭載されます。OHV方式の空冷縦置き90° V ツイン、1 シリンダー2バルブ。それはマンデッロイーグルの誇りと伝統です。エンジン排気量は、ボア84 mm × ストローク77 mm の853 ccです。シリーズ全エンジンの中で最も近代的で、完全なる新設計であり、通常はレーシングマシンに使われるチタンなどの素材の使用により、80 HPの最高出力と80 Nm / 5,000 rpmの最大トルクを発生させます。極低回転でも高い駆動力を発生するマンデッロ ツインの伝統を受け継ぎ、3,750 rpmですでに90%のトルクを発生します。

新設計のクランクケースは高い剛性を誇り、フレームとの接続部と内部スタッドボルト周りの構成部品の強化により、フレームの強度メンバーとしての役割も果たしています。また、下部のサブクランクケースには、オイルレベルをチェックする新しい窓が設けられました。潤滑にはセミドライサンプを採用しています。2つの同軸ポンプにオイルの供給と回収を任せることで高い潤滑性能を確保し、オイルクーラーの必要性を排除して全体重量を削減しました。セミドライサンプ方式はクランクケース室の完全隔離を可能とし、ピストンがオイルタンク内部の逆圧に打ち勝たなければならない、ドライサンプシステム特有のパワー損失を防ぎます。オイル回路は完全な新設計で、直径の異なる穴が特徴。2つのポンプの内の1つが潤滑油をクランクケース室からオイルタンクに移します。もう1つは最低地上高を増やすためにサイズが縮小され、アルミ製アンダーサンプガードの取り付けを可能にしました。クランクシャフト、コンロッドも完全新設計で、他のスモールブロックエンジンに対して重量を約30%削減。振動を大幅に減らし、スロットルレスポンスを向上させています。ツインエンジンのヘッド周りも全くの新設計です。モト・グッツィのアイデンティティであるOHV2バルブの基本構造を維持しながら、システムと素材がすべて新しくなりました。シリンダーは高さが低くなり、新しい効率的なオイル通路と一新されたクランクケースへの固定方法が、優れた堅牢性と信頼性を高めています。ヘッドには新しい特別形状のインテークダクトとリンクが採用されました。モト・グッツィ エンジンで際立っているのが、アルミ製ローラーカムとロッカーアームプッシュロッドで構成される吸排気システムです。スチール製の半分の重量となるチタン製インテークバルブの採用は、より素早いオープンレスポンスを可能とし、最高出力に貢献します。20 mm ピンのロープロファイルピストン、形状の異なる新しいヘッド/プラグカバーが採用され、フライホイールとジェネレーターが強化されました。インジェクションは52 mm スロットルボディを1つ装備し、電子制御はマルチマップタイプのライド・バイ・ワイヤスロットルコントロール採用しています。緻密で正確な燃料供給の制御を可能にするシステムで、スムーズで豊かなパワーデリバリーを実現するために全体的な効率を最適化するだけでなく、燃費にも貢献します。新しいモト・グッツィ エンジンは燃料消費の面でも非常に優れています。元来 OHV方式がパワー損失の面で有利なこともあり、パワーロスになるコンポーネントがほとんどありません。冷却ポンプも長いドライブチェーンやベルトもありません。よりスムーズで的確な動きを実現するために、ギアボックスにも重要な改良が加えられました。ギアボックスとクラッチハウジングが十分な最低地上高を確保しました。乾式クラッチは、新しいクラッチディスクに加えて、クラッチプレートの下に補強ディスクを装備しています。トリプルリングシステムも初めて導入されました。これはギアノイズ、特に1速ギアのノイズを最小限に抑えるシンクロナイザーです。ギアレシオも新しくなっています。さらに、ギアには柔軟性のあるカップリングが装備されました。最後に、スイングアームハウジングは最適化したサイズに決定され、大径ベアリングが採用されています。

PRESS INFORMATION

最先端のテクノロジーと機能

V85 TT プロジェクトの主な目標を達成するために、あるいは日々の移動やツーリング、冒険的なオフロードライディングでグッツィスタを満足させるための電装機器のすべてを設計しました。これにより、旅の楽しさを最大限に引き出せるよう、意図しない技術的ストレスを排除したいと考えます。より簡単で安全な走りを実現するために、モト・グッツィは V85 TT に 3 種類のライディングモード「Road、Rain、Off-road」を導入しました。3 つのライディングモードは、それぞれ異なるエンジンマッピング、ABS 設定、MGCT トラクションコントロールキャリブレーション、ライド・バイ・ワイヤアクセルコントロールからのレスポンスを調和させています。

- **Road:** 楽しめる要素を維持しながら、スムーズな走りを実現する設定。中レベルの MGCT トラクションコントロールキャリブレーション、両ホイールで ABS の作動、俊敏なスロットルレスポンス。
- **Rain:** グリップの低い状況で、最大限の走行安全性を確保するのに理想的。より高いレベルのトラクションコントロールキャリブレーション、両ホイールで ABS の作動、より穏やかなスロットルレスポンス。
- **Off-road:** V85 TT のオールテレーン志向に合わせた設定で、オフロード走行時にシャシーとエンジンを最大限に活用できるように設計。最低レベルのトラクションコントロールキャリブレーション、専用キャリブレーションでフロントホイールのみ ABS 作動 (状況によりフロントの作動を無効にする場合あり)、強めのエンジンブレーキでアシストされるより穏やかなスロットルレスポンス。

バイクがライディングモードごとに最適な電子制御設定を行っており、ライダーは好みのモードを選択するだけで安全性を確保できます。

V85 TT はクルーズコントロールも装備し、アクセルを操作することなくプリセットした速度を維持することができます。このシステムは、システムの起動、操作、速度設定の増減に必要なボタンは 1 つだけで、ツーリングをより快適にするために設計されました。

すべてのパラメーターは、TFT ディスプレイを採用したデジタルメーターを介して操作することができます。文字の背景と色は、内蔵センサーの働きによってさまざまな光の条件に適応します。スピードメーター、タコメーター、距離計、時計に加えて、選択されているギア、気温、燃料計、平均/瞬間燃費、残走行可能距離、選択されたライディングモードが表示されます。ギアシフトタイミングライトの回転数を設定することも可能で、走行中に可能な限り燃料消費量を抑えたいときに便利です。ディスプレイの横とシート下に USB ポートが装備されています。

◇お客様お問い合わせ先:

ピアaggioコール 03-3453-3903

◇報道関係者お問い合わせ先:

ピアaggioグループジャパン株式会社

〒108-0073 東京都港区芝 2-12-10 タカナミビル1F

○ PR/マーケティング: 河野 僚太 (こうのりょうた)

E-Mail press@piaggio.co.jp

代表電話 03-3454-8880 FAX 03-3454-8868

■モト・グッツィ V85TT TRALEL 主要諸元

エンジン形式	空冷 4 ストローク 縦置き 90° V 型 2 気筒 2 バルブ OHV
総排気量	853 cc
ボア×ストローク	84 x 77 mm
圧縮比	10.5: 1
最高出力	80 HP (59 kW) / 7,750 rpm
最大トルク	80 Nm / 5,000 rpm
燃料供給システム	電子制御インジェクション、φ 52 mm シングルスロットルボディ、ライド・バイ・ワイヤ
燃料タンク容量	21 リッター (リザーブ 5 リッターを含む)
クラッチ	乾式単板
トランスミッション	6 速
ギアレシオ	1 速 16/39= 1:2.437
	2 速 18/32= 1:1.778
	3 速 21/28= 1:1.333
	4 速 24/26= 1:1.083
	5 速 25/24= 1:0.960
	6 速 27/24= 1:0.889
フレーム	高張力鋼管製フレーム
フロントサスペンション	41 mm 油圧テレスコピック倒立フォーク、スプリングプリロードおよびリバウンドダンピング調整
フロントホイールトラベル	170 mm
リアサスペンション	アルミボックスタイプ両持ちスイングアーム、右サイドシングルショック、スプリングプリロードおよびリバウンドダンピング調整
リアホイールトラベル	170 mm
フロントブレーキ	φ 320 mm ステンレススチール製フローティングダブルディスク、Brembo 製対向 4 ピストンラジアルマウントキャリパー
リアブレーキ	φ 260 mm ステンレススチール製ディスク、2 ピストンフローティングキャリパー
ホイール	スポーク F) 2.50 × 19 インチ R) 4.25 × 17 インチ
タイヤ	F) 110/80 -19 R) 150/70 -17
全長／全幅／全高	2,240 mm／950mm／1,445mm
シート高	830 mm
乾燥重量	210 kg (サイドパニアを除く)
車両重量	231 kg サイドパニアを除く走行可能状態(燃料 90%搭載時)